

## ミュージアム・グッズの販売

郷土博物館では、川瀬巴水、海苔の関連グッズをはじめ、過去に開催された特別展の図録や、古墳・馬込文士村・六郷用水の歴史などの各種ガイドブック、文化財関係の刊行物を1階受付で販売しています。



川瀬巴水グッズ



海苔グッズ

## 休館予定日

祝日を除く毎週月曜日、年末年始、展示替え、燻蒸の期間など

【年末年始】 12月29日(日)～ 1月 3日(金)

【展示替え】 9月30日(月)～ 10月 7日(月)

12月 2日(月)～ 12月 9日(月)

1月11日(土)～ 1月20日(月)

3月24日(月)～ 3月31日(月)

※休館日につきましては、上記の他に臨時休館する場合がございますので、ホームページまたはお電話などでご確認ください。

## 大田区教育委員会 文化財担当

土・日・祝日、年末年始を除いて、午前8時30分から午後5時15分まで郷土博物館内で業務を行っています。

☆文化財担当の連絡先

電話 03-3777-1281 FAX 03-3777-1283

## ご利用案内

入館料 …… 無料

※特別展については、お問い合わせください。

開館時間 …… 午前9時から午後5時まで

休館日 …… 祝日を除く毎週月曜日、年末年始、展示替えの期間など

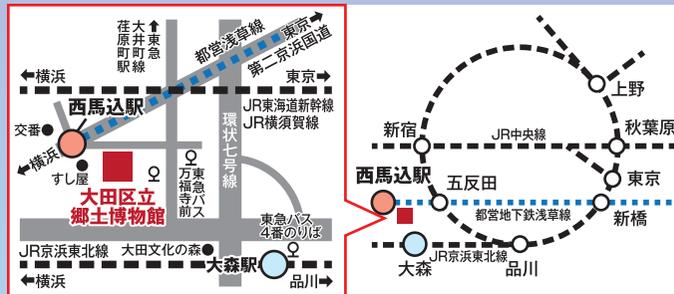
## 交通案内

☆JR京浜東北線「大森駅」

北口改札山王方面の東急バス4番乗り場で「荏原町駅入口」行に乗り「万福寺前」下車徒歩2分

※車椅子をご利用の方は、「大森駅」中央改札口をご利用ください。

☆都営地下鉄浅草線「西馬込駅」東口から徒歩7分



# 大田区立郷土博物館

Ota City Folk Museum

〒143-0025 大田区南馬込五丁目11番13号

電話 03-3777-1070 FAX 03-3777-1283



# 大田区立郷土博物館のご案内

2024年4月～2025年3月



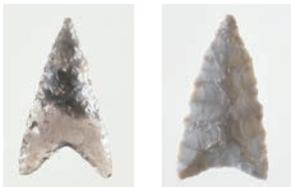
黒曜石で作られた石鏃(当館蔵)  
上: 大谷・下谷遺跡  
下: 都立田園調布高等学校内遺跡

## 特別展

### 矢を放て！ ～関東の弓矢、一万年～ 10月8日(火)～12月1日(日)

長い歴史の中で様々な役割を与えられてきた弓矢は、狩猟具として縄文時代に誕生しました。そして、弥生時代から中世までは武器としての大きな役割を担いますが、16世紀の鉄砲の普及を契機に、その役割を鉄砲に譲る大きな転換期を迎えます。

大田区でも縄文時代から古墳時代までの弓矢の先に付ける鏃が出土しています。本展では、関東における弓矢の歴史を紐解き、関東周辺を考古資料の中に大田区の鏃を位置づけることを試みます。



縄文時代の石鏃

左：都立田園調布高等学校内遺跡(当館蔵)  
右：熊野神社前貝塚(当館蔵)



古墳時代の鉄鏃

塚越横穴墓群(個人蔵)



紙本着色新田大明神縁起絵(部分)  
東京都指定文化財  
(新田神社所蔵、株式会社 半田九清堂画像提供)



六郷神社の流鏝馬(オビシヤ)  
東京都無形民俗文化財  
平成29年1月7日撮影

特別展・企画展では関連催事を予定しています。

## 企画展

### 博物館 まなびの広場展 ～三団体の活動と学習の成果～ 1月21日(火)～3月23日(日)

令和5(2023)年から7年にかけて、郷土博物館を拠点に日頃から活動している3つの団体が、相次いで記念すべき節目の年をむかえます。本展では、令和5年に40周年となる「大田区立郷土博物館 友の会」、令和6年に25周年となる「大森麦わら細工の会」、令和7年に20周年となる「馬込文士村ガイドの会」、その各々の、これまでのあゆみと活動・学習の成果を発表します。長きにわたり博物館と車の両輪のように歩んできた各団体が織りなす、「まなびの広場」をご覧ください。

## 大田区立郷土博物館 友の会

本会は昭和58(1983)年、博物館の体験催事「縄文土器づくり」を契機に結成されました。その後、会員の関心に応じて様々な分科会が発足し、現在「縄文土器づくりの会」の他、「民俗・郷土玩具の会」「水路の会」「古文書の会」「江戸時代の交通と旅の会」「大田の歴史地図の会」「考古の会」「大昔の会」が、各々勉強会や見学会、資料整理、展示など多彩な活動を行っています。

## 大森麦わら細工の会

平成11(1999)年に郷土博物館の特別展「麦わら細工の輝き」を契機として大森麦わら細工の会は発足しました。会の活動は、江戸時代に東海道の街道土産として旅人に親しまれ、近代化の中で消滅した全国でも珍しい「大森麦わら細工」の制作方法の復元と魅力の発信を目的としています。また、材料となる麦わらは11月の種まきから5月の麦刈りまで、会員たちで栽培しています。

## 馬込文士村ガイドの会

馬込文士村ガイドの会は、平成17(2005)年に博物館主催の「馬込文士村ボランティアガイド養成講座」を受講した参加者を中心として発足しました。日本文学史のなかでも特異な位置を占める「馬込文士村」の魅力を知ってもらうため、自主的な学習と現地でのガイドを行ってきました。そうしたなかで文士村散策コースを開発し、文士村に関心を寄せる参加者に現地を案内しています。



縄文土器づくり  
野焼きの風景



麦わら細工の会作品



大森駅前文士村レリーフ



郷土玩具の展示



江戸の旅支度



斎藤幸雄他著 長谷川雪旦画「江戸名所図会」『浅草海苔』天保5・7(1834・36)年



目黒筋御場絵図 文化2(1805)年(国立公文書館デジタルアーカイブ)



六郷橋と多摩川の筑つなぎ橋  
〔SIGHTS AND SCENES ON THE TOKAIDO〕明治25(1892)年



大田区遺跡の散歩道

## 常設展示のご案内

私たちが暮らす大田区の歴史を広く深く学べるよう、情報検索システム「おおた歴史探検ガイド」と4つの常設展示コーナーを設けています。

当館はモノを通じておおたの歩みを学ぶ場です。「おおたモノ語り」をぜひお楽しみください。

※特別展・企画展期間中は、常設展の一部をご覧になれません。



- ①「大田歴史探検ガイド」 地域別に歴史を学べます。画面に触らず操作できます。
- ②地中に刻まれた歴史 区内の旧石器時代から中世までの主要な遺跡や出土遺物を展示。
- ③農漁村の風景 荏原郡下の農漁村と、そこに生きた人々の暮らしを紹介。
- ④馬込文士村 馬込・山王・中央に住んだ文士・画家らの作品・原稿・遺品を展示。
- ⑤近代化とまち 近代市街地化の歴史を紹介。大田区の歩みを写真パネルで展覧。



## 年間イベント予定

赤ちゃんと一緒に博物館へ、博物館講座、夏休み体験学習会、体験講座などを行います。